

東京すくわくプログラム活動報告書③

テーマ:ボール遊び

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園
活動日時：令和7年2月28日
午前中

クラス名：きりん組（4歳児クラス）
年間テーマ：ボール遊び

<テーマの設定理由>テーマ：戸外でボール遊び

理由：前回、室内・戸外（近くの公園）でボール遊びを行ったが、子どもたちが素材によってボールの違いを発見したり、空間によって遊びの変化が見られた。遊びがダイナミックになってきたので、より広い戸外で思い切りボール遊びを楽しめるようにする。
また大小大きさの違うボールを使って遊ぶ。

<活動のために準備した素材や道具>

ボール（大・小）、素材の違うボール

<活動スケジュール>

この日は戸外でおもいきりボール遊びが出来るよう、早めに準備をし遠くの広い公園へ出かける。
空間が広い中で思い切りボール遊びに取り組む。

<環境をデザインする・探求活動の実践>



ドッチボールの大きさのボールを使うと、転がす・蹴る・上に投げる等の遊びが多かった。
高く上がるボールを見上げては落ちる様子を楽しみ何度も繰り返す姿が見られた。遊びの中で違うボールも
投げてみたいとの子どもたちの声もありテニスボールを準備すると、大きさや手触りを感じながら
「こっちの方が重い」等の言葉が聞かれた。
大きいボールに乗ってバランスを取ろうとしたり小さいボールは
手のひらで握りながらそれぞれのボールの感触を楽しんでいた。



戸外（土手）という環境もあり、投げる・蹴るだけでなく、坂道から落とす、
転がすという遊びが始まった。ボールの動きやスピードを楽しみながら、
同じボールでも色によって速さが違う（空気の量にもよる…）
ドッチボールとテニスボールでどちらが速いか競争、
土手と階段でのボールの動きや違い等、子どもたちから
遊びの展開や工夫が見られた。
また、階段の下から上に向かって投げると思いも
よらない方向へボールが動き戻ってくる事を
楽しんだり、何段目まで投げられた！と
友だちと遊び合う姿があった。



<振り返り>
・戸外で思い切りボール遊びを楽しむためには安全な環境と配慮が必要であった。子どもたちの姿を見ると投げた
ボールを目で見て追いかける事や安全な坂道等で上から転がしボールの行方を見守ったり、大きさ等で転がる
スピードの違いを楽しんでいた。
どんな遊びでもまずは自分でボールに触れて親しんだ後に友だちと関わり、面白さや発見したことを共有して
いる姿が印象的だった。